

社会福祉法人晋栄福祉会

特別養護老人ホーム宝塚ちどり／兵庫県宝塚市

社会福祉法人晋栄福祉会は、大阪府・兵庫県・奈良県で特別養護老人ホームの他、高齢者施設や保育園を運営する法人です。

宝塚ちどりは平成17年10月に開設され、「一日一日を楽しく、自分らしく生きたい」私たちはその気持ちを大切に、快適に暮らすためのお手伝いをしていきます。宝塚ちどりでは、すべての高齢者が安心して生活できるような社会を作ることを社会的使命として捉え、職員が一丸となって取り組んでいます。今回、補助金を活用し、従来の設備を災害時にも停電対応型の設備に更新することで、福祉避難所としての強化が図られ、更なる地域貢献の実現が可能になるのではないかと考えています。



外観

補助事業の概要

導入設備：停電対応型CGS 35kW×1台
停電対応型GHP 56kW×3台、
標準型GHP 18kW×3台、45kW×3台、56kW×1台、85kW×2台

補助金額：25,000千円(補助率1/3)

災害時の設備用途：[発電] 標準型GHP×9台へ給電
[温水] 給湯利用
[空調] 1F東側共用部廊下・事務室・相談室等、5F共用スペース・エレベーターホール前廊下
各階 停電対応型GHP使用箇所以外の共用部

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	2,992㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人晋栄福祉会 特別養護老人ホーム宝塚ちどり 阪上 知之 様

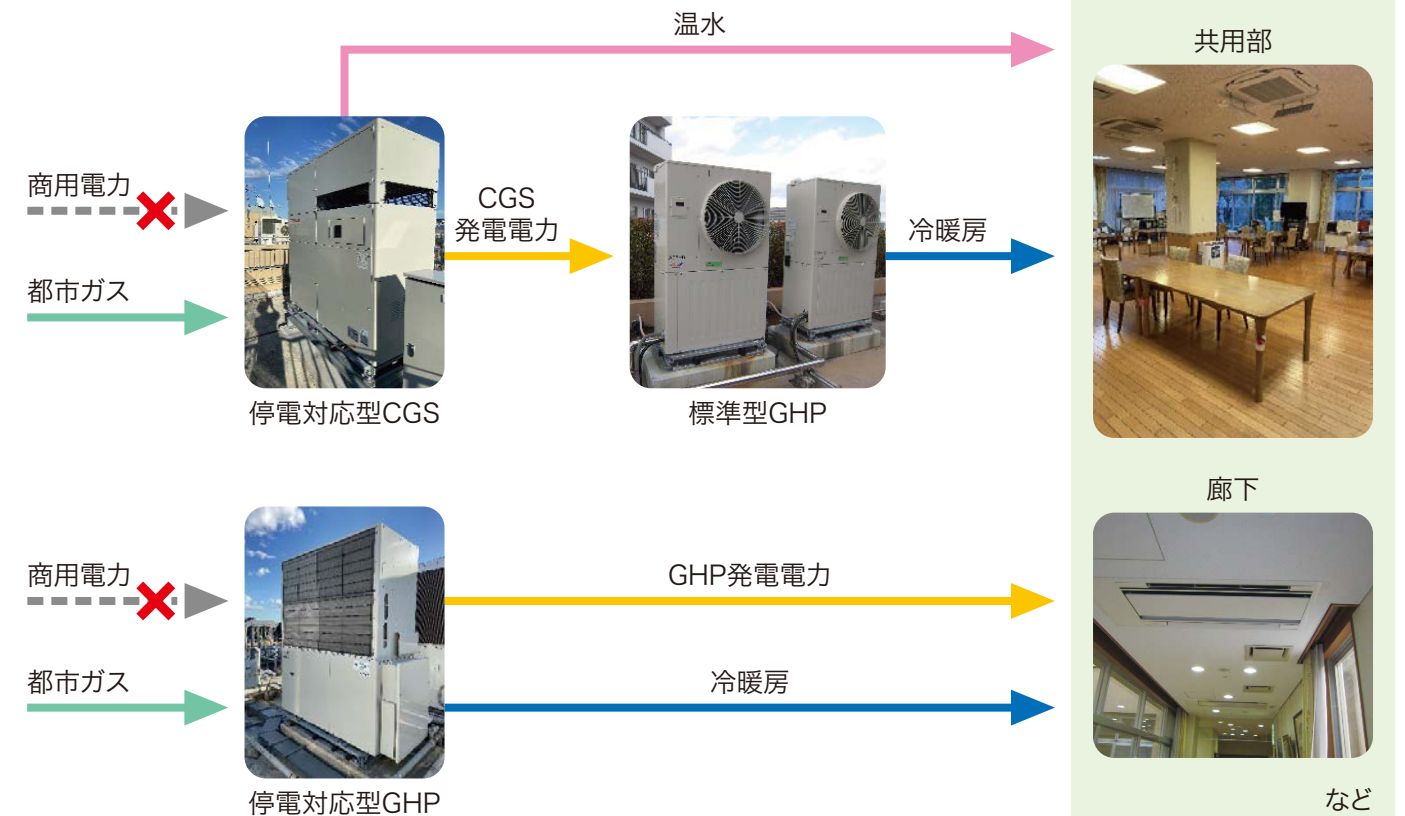
現在使用中の空調機の更新を検討している中で、ガス会社から補助金を活用した提案を受けました。既存と同じ設備への更新ではなく、停電時に稼働できるようになるのは大きなメリットでした。提案を受けたうえで翌年の補助金のスケジュールに合うように準備をすることになりました。

当施設でも災害時に地域の役に立てればと考えており、そのタイミングで行政から声がかかり協定を以前に締結しました。今回の補助金を活用し、停電時に空調やコンセントが使える施設になることで、避難所として更なるお役に立てると思い、今回の補助金申請を行いました。

従来から災害時の避難所として協定は締結していましたが、避難所で空調が使えない・照明がつかない等停電した場合の状況をニュース等で知り、実際に災害が発生した場合のことを考えると、不安がありました。今回の補助金で、停電時に稼働できる設備の導入のコストを抑えられるのは、費用面での問題を解消できるため、導入のチャンスと考えました。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



給湯

協定概要

宝塚市とは「宝塚市福祉避難所の指定、開設及び管理運営に関する協定書」を締結(平成25年4月)。宝塚市の区域において大規模な地震、風水害その他の災害が発生した場合には、当該施設を福祉避難所として利用することについて定めております。